

コミュニティバス運賃について

さいたま市 都市局
都市計画部 交通政策課

令和5年7月4日（火）




目次

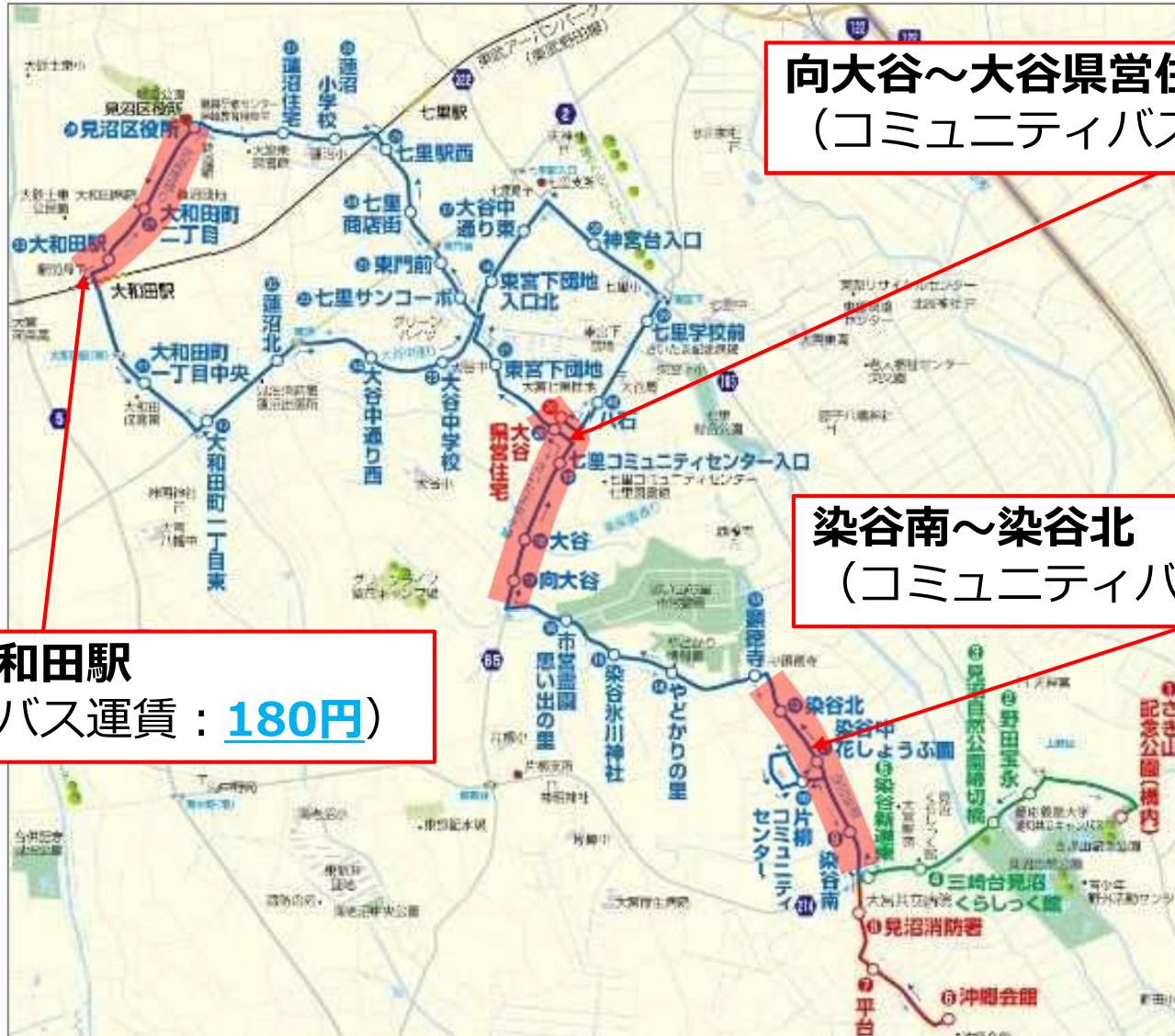
1. 路線バス運賃改定後に価格差が生じる
コミュニティバス路線(区間)の整理
2. 運賃改定による利用者への影響
3. 他市におけるコミュニティバス運賃改定状況
4. 論点



1. 路線バス運賃改定後に価格差が生じるコミュニティバス路線（区間）の整理

●見沼区コミュニティバス

 : 路線バス（国際興業、東武バスウエスト）と重複する区間



向大谷～大谷県営住宅
(コミュニティバス運賃：**180円**)

染谷南～染谷北
(コミュニティバス運賃：**180円**)

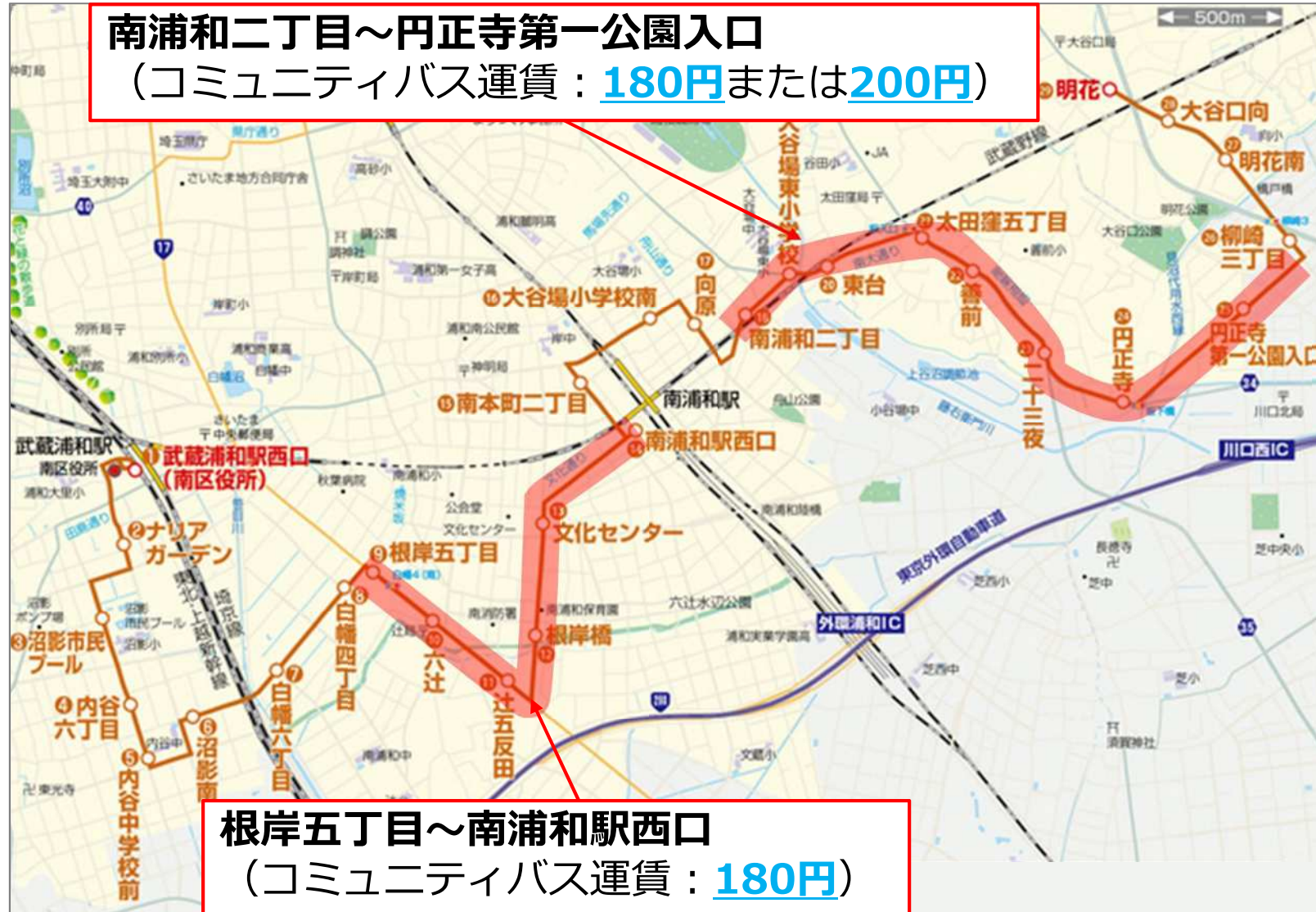
見沼区役所～大和田駅
(コミュニティバス運賃：**180円**)



1. 路線バス運賃改定後に価格差が生じるコミュニティバス路線（区間）の整理

●南区コミュニティバス

 : 路線バス（国際興業）と重複する区間





1. 路線バス運賃改定後に価格差が生じるコミュニティバス路線（区間）の整理

●桜区コミュニティバス

■：路線バス（国際興業）と重複する区間



白鷺～神田
(コミュニティバス運賃：180円または200円)

桜区役所～栄和
(コミュニティバス運賃：180円)



1. 路線バス運賃改定後に価格差が生じるコミュニティバス路線（区間）の整理

●北区コミュニティバス

■：路線バス（東武バスウエスト）と重複する区間




宮原駅東口～西本郷
(コミュニティバス運賃：180円または190円)

富士フィルム大宮事業所前～植竹一丁目
(コミュニティバス運賃：180円)



1. 路線バス運賃改定後に価格差が生じるコミュニティバス路線（区間）の整理

● 岩槻区コミュニティバス

 : 路線バス（東武バスウエスト）と重複する区間





2. 運賃改定による利用者への影響

●コミュニティバス運賃改定の要否について

・以下の3パターンについて議論するため、想定収支率等を試算する。

a) 改定なし

b) 路線バスとの重複区間がある路線の運賃改定

⇒見沼区 南区 桜区 北区 について、初乗り運賃180円→200円

c) 市内全6路線の運賃改定

⇒見沼区 南区 桜区 北区 岩槻区 西区 について、初乗り運賃180円→200円

●逸走率※について

・他市事例（埼玉県内他）のコミュニティバス運賃改定事例を基に、改定前後の利用者数の変化を想定

⇒逸走率を **10%** **20%** とした場合の想定収支等をそれぞれ算出する。

※逸走率とは・・・

利用者数が減少する割合のこと。

1 - (運賃改定後の利用者数 ÷ 運賃改定前の利用者数) を%で表した値。



2. 運賃改定による利用者への影響

● 想定収支率等の試算結果

全路線 を20円値上げ		R4年度実績					想定（逸走率を 10% とした場合）				想定（逸走率を 20% とした場合）			
		利用者数 (人/年)	収入 (円/年)	経費 (円/年)	収支率	1人あたり運賃 (円/人)	利用者数 (人/年)	収入 (円/年)	収支率		利用者数 (人/年)	収入 (円/年)	収支率	
										(増減)				(増減)
西武バス	西 区	38,158	5,678,034	31,221,955	18.2%	148.8	34,342	5,797,074	18.6%	(+0.4%)	30,526	5,152,955	16.5%	(- 1.7%)
国際興業バス	見沼区	42,779	7,186,931	36,295,812	19.8%	168.0	38,501	7,238,260	19.9%	(+0.1%)	34,223	6,434,009	17.7%	(- 2.1%)
	南 区	50,279	8,833,098	36,465,677	24.2%	175.7	45,251	8,854,810	24.3%	(+0.1%)	40,223	7,870,942	21.6%	(- 2.6%)
	桜 区	47,552	7,979,523	37,167,385	21.5%	167.8	42,797	8,037,507	21.6%	(+0.2%)	38,042	7,144,450	19.2%	(- 2.2%)
東武バス	北 区	59,591	11,569,562	29,419,973	39.3%	194.1	53,632	11,485,244	39.0%	(- 0.3%)	47,673	10,209,106	34.7%	(- 4.6%)
	岩槻区	61,518	11,091,071	31,176,888	35.6%	180.3	55,366	11,089,287	35.6%	(- 0.0%)	49,214	9,857,144	31.6%	(- 4.0%)
コミバス全路線計		299,877	52,338,219	201,747,690	25.94%	174.5	269,889	52,502,183	26.02%	(+0.08%)	239,902	46,668,607	23.13%	(- 2.81%)

⇒ 逸走率**10%**の場合は**収支率が全体として微増**、
逸走率**20%**の場合は**収支率が減少**することが想定される。



3. 他市におけるコミュニティバス運賃改定状況

運賃増	都市名	改定時期	改定内容	比較月または年度	逸走率
10円	埼玉県 さいたま市	R1年10月	260円→270円	H30年10月→R1年10月	1%増（逸走なし）（実績）
				R1年9月→R1年10月	9%増（逸走なし）（実績）
30円	埼玉県 富士見市	R2年1月	170円→200円	R1年12月→R2年12月	44%減 ※（実績）
				R1年12月→R2年1月	18%減（実績）
	埼玉県 新座市	R5年4月予定	150円→180円	-	不明
	埼玉県 朝霞市	R5年7月予定	150円→180円	-	0%または10%減（想定）
埼玉県 和光市	R5年10月予定	150円→180円	-	不明	
50円	東京都 西東京市	H25年8月	100円→150円	H24年度→H25年度	11%減（実績）
	奈良県 生駒市	H30年10月	150円→200円	H29年10月→H30年10月	9%減（実績）
60円	埼玉県 草加市	R4年7月	210円→270円	R3年7月→R4年7月	7%増（逸走なし）※（実績）
				R4年6月→R4年7月	4%増（逸走なし）（実績）
80円	東京都 東村山市	H26年6月	100円→180円	H25年6月→H26年6月	24%減（実績）
100円	埼玉県 桶川市	R2年7月	100円→200円	R1年7月→R2年7月	46%減 ※（実績）
				R2年6月→R2年7月	13%減（実績）
				-	20%減（想定）
三重県 鈴鹿市	H28年4月	100円→200円	H27年度→H28年度	16%減（実績）	
200円	群馬県 伊勢崎市	H30年4月	無料→200円	H29年度→H30年度	13%減（実績）

⇒他市事例より、逸走率**10%～20%**程度となることが想定される。

※：コロナ禍の影響を強く受けている逸走率については例外扱いとする



(参考) 関東圏における路線バス運賃改定状況

運賃増	事業者名	改定時期	改定内容	比較月または年度	逸走率
10円	川崎市交通局	R4年10月	210円→220円	R4年度（改定前→後）	2%減（想定）
	横浜市営バス（川崎市内区間のみ）	R4年10月	210円→220円	-	不明
	川崎鶴見臨港バス	R5年3月	210円→220円	-	不明
	西東京バス	R5年3月	180円→190円	R5年度（改定前→後）	8%減（想定）
	京王バス	R5年3月	210円→220円	-	不明
	東急バス	R5年3月	210円→220円	R5年度（改定前→後）	4%減（想定）
20円	国際興業	R5年3月	180円→200円	R5年度（改定前→後）	4%減（想定）
	相鉄バス	R4年5月	180円→200円	R4年度（改定前→後）	2%減（想定）
	江ノ電バス	R5年3月	180円→200円	R5年度（改定前→後）	3%減（想定）
	東武バスウエスト	R5年7月予定	180円→200円	R5年度（改定前→後）	4%減（想定）
30円	神奈川中央交通	R4年7月	180円→210円	R4年度（改定前→後）	3%減（想定）
40円	箱根登山バス	R4年10月	160円→200円	R4年度（改定前→後）	4%減（想定）

⇒路線バスについては、逸走率**2%~4%**を想定している事例が多い。



4. 論点

● コミュニティバス運賃改定の要否について

・ 上述の想定収支率等も踏まえ、意見を伺いながら、以下の3パターンについて検討する。

a) 改定なし

b) 路線バスとの重複区間がある路線の運賃改定

⇒ **見沼区 南区 桜区 北区**

について、初乗り運賃180円→200円

c) 市内全6路線の運賃改定

⇒ **見沼区 南区 桜区 北区**

岩槻区 西区 について、初乗り運賃180円→200円